

令和 4 年度
事 業 実 施 報 告 書

令和 5 年 5 月 26 日議決
新潟市南区社会福祉協議会

新潟市南区社会福祉協議会事業報告

【概 要】

新型コロナウィルス感染症拡大を予防するために地域活動の自粛などがある中、南区社会福祉協議会では地域のつながりを断つことのないよう、地域住民の皆様や関係機関とともに創意工夫を凝らし、地域福祉活動を継続してきました。

また、コロナ禍により生活に困窮する世帯からの相談に応じ、生活福祉資金特例貸付の窓口業務を担うとともに、世帯の経済的負担軽減の一助として、日用品や食料品等の支援を通した相談支援を引き続き実施しました。

令和3年度からの6ヵ年計画である「第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画（南区地域福祉アクションプラン）」については、各地区においてコミュニティ協議会や関係団体の皆様と一緒に、地域の福祉課題解決につながる活動を検討し推進しました。

この他には、ボランティアに関わる活動支援や受援力、地域課題に関する各種講座の開催、ひきこもりに関する連絡会や家族の居場所、当事者の居場所の定例開催など積極的に地域福祉の推進に取り組んできました。

事業の実施状況について次のとおり報告します。

【事業実施状況】

1. 地域福祉推進活動事業

(1) 地区社協活動支援

地区社協で行っている地域の課題に対応した事業に、事業費助成など様々な支援を行いました。

○コミ協会長・地区社協会長・地域生活センター職員合同会議

開催日	会 場	協議内容
令和4年 8月2日（火） 参加者31名	南区社会福祉協議会 会議室	・社協会費、共同募金及び歳末たすけあい募金について ・令和4年度地区社会福祉協議会交付金について ・令和4年度地区社会福祉協議会活動推進事業について ・南区社会福祉協議会業務依頼について ・第16回南区社会福祉大会被表彰者等の推薦について

○コミュニティ協議会との連携・協働

地区社協の福祉事業がコミ協と協働して実施されるなど、地域福祉の事業推進についてコミ協との連携を深めながら、より一層の地域福祉の向上、育成に努めました。

(2) ふれあい・いきいきネットワーク活動事業

地域の自治会単位での高齢者等見守り活動に対し、事業費助成を行いました。

	R4（件）	R3（件）	R2（件）
取り組み件数	3	2	1

(3) 南区地域福祉アクションプラン推進委員会

第3期南区地域福祉アクションプラン（令和3年度～8年度までの6年間）の計画推進のため、行政と連携し計画の進捗管理のための推進会議を開催し、目標達成のための活動事業について検討しました。

また地区別計画については、年度初めと年度の終盤に地域で検討会議を開催、目標達成に向けた地域活動を検討し評価検証する仕組みをつくりました。

回	開催日・会場	主な内容
1	令和4年8月4日（木） 白根健康福祉センター 多目的ホール	・南区地域福祉アクションプラン福祉分野別計画における令和2年度の取り組みと評価について ・同プラン地区別計画の今年度の推進内容について 他
2	令和5年3月22日（火） 白根健康福祉センター 多目的ホール	・R4年度南区地域福祉アクションプラン分野別計画の取り組みについて ・同プラン地区別計画の取り組みと成果について 他
3	（地区検討会） ①令和4年6～7月 ②令和4年12月～令和5年2月	①令和4年度のアクションプランの取り組みに関する計画打合せ会議（12地区で開催） ②令和4年度のアクションプランの取り組みに関する評価会議（12地区で開催）

(4) 地域包括ケア推進事業

地域コミュニティ協議会や自治会・町内会、地域の茶の間等で支え合いのしくみづくりや地域での見守り、助け合い・支え合いの活動の立ち上げに向けた啓発を第2層圏域の支え合いのしくみづくり推進員と協力して行いました。また「共に生き支え合う南区 地域づくりフォーラム」では、南区内の活動を発表し、住民の意識啓発に努めました。

味方・月潟圏域においては、令和4年度より新たに3名の支え合いのしくみづくり推進員(SC)が配置されました。その活動を支援するため、定期的なSC連絡会の開催や、支え合いのしくみづくりについての研修会を開催しました。

さらにこのSC連絡会では、それぞれの圏域の活動を相談しあい、連携・協力し合いながら進められるよう支援しました。SC研修会では、南区内でも課題となっている移動支援のしくみについて、西区立仏地区の住民の助け合い事例を聞く勉強会を開催し、各圏域にあった移動について考える機会をつくりました。

令和元年度に活動を始めた南区助け合い「お互いさま・新潟」(通称:南区お互いさま)の活動は、受付から支援までの流れを整理し、依頼があった場合は、その都度内容を共有し、南区お互いさままで対応できるか否か検討をしました。

南区第1層支え合いのしくみづくり会議では、地域へのアウトリーチや福祉職との情報交換会、2層SCからの情報提供や地域福祉アクションプランの推進会議の場などから把握された南区の3つの課題「担い手の育成と確保」「高齢者の介護予防と活躍の場づくり」「認知症の方の理解と身近で見守る地域づくり」をとりまとめて報告しました。次年度より、課題解決につながるようさらに検討協議をすすめます。

○南区第1層支え合いのしくみづくり会議開催状況

	開催日	主な内容
第12回	令和5年 3月20日	① 南区第1層支え合いのしくみづくり会議構成員の交代について ② 南区第2層生活支援体制整備事業報告について ③ 令和4年度南区生活支援体制整備における事業実施報告について ④ 令和5年度南区における生活支援体制整備事業方針について

○南区第2層支え合いのしくみづくり会議開催状況

圏域	開催日	会場
白井・白根北	令和4年6月29日(水)	大通地区生活センター
	令和4年11月18日(金)	
	令和5年3月1日(水)	
白南・白根第一	令和5年2月24日(金)	南区役所
味方	令和4年4月5日(火)	味方出張所
	令和4年5月18日(水)	
	令和4年7月6日(水)	

	令和4年8月18日（木）	
	令和4年9月20日（火）	
	令和4年11月1日（火）	
	令和4年12月6日（火）	
	令和5年1月20日（金）	
	令和5年2月17日（金）	
月潟	令和4年8月28日（水）	月潟出張所
	令和5年2月22日（水）	

○南区支え合いのしくみづくりフォーラムの開催

開催日時	会場	内 容
令和4年 12月3日（土）	サルナート吉運堂 5階万葉の間	※「共に生き支え合う南区 地域づくりフォーラム」と題し、地域福祉推進フォーラムと合同開催 <u>15ページに詳細を記載しています。</u>

○南区助けあい「お互いさま・新潟」（通称：南区おたがいさま）の活動

【住民相互の助け合い活動の実施・相談の受付】

日常生活において、手助けが必要な人と手助けできる人が「お互いさま」という気持ちでつながる有償の助け合い活動を行いました。

買物や掃除、除雪、草取り、見守り訪問といった生活に関する活動を行いました。

<相談件数>

臼井・ 白根北圏域	白南・ 白根第一圏域	味方・ 月潟圏域	事業所・ その他	計
2件	12件	0件	6件	20

2. 区社協見守り・生活支援事業

（1）地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン、子育てサロンの育成と支援

高齢者や子育て中の方々など地域のさまざまな人たちの孤立防止、地域の助け合いの意識醸成を目的に、自治会・町内会等の小地域が主体となり仲間づくりや多世代交流事業を実施する「地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン」の立ち上げ支援や助成を行いました。

新型コロナウイルス感染症拡大により開催の自粛を呼びかける期間もありましたが、感染対策等の工夫をしながら、各地域で茶の間が開催されました。

また、南区内の地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン、子育てサロンの開催状況の把握に努め、南区社協だよりに実施団体の情報を掲載しました。

なお、地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン助成団体に対して、相談会を開催し、報告書類や次年度の助成申請書類の作成について個別に対応し支援を行いました。

○地域の茶の間・ふれあい・いきいきサロン・子育てサロンの実績

地区名	サロン数						地区名	サロン数					
	高齢者			子育て				高齢者			子育て		
	市助成		助成無	区 社 協 助 成	市助成		助成無	区 社 協 助 成					
	月1回タイプ	月2回タイプ	週1回タイプ		不定期開催	季節開催等	月1回タイプ		週1回タイプ	不定期開催	季節開催等	月1回タイプ	
新飯田	2			1	1	鷺巣	1			2			
茨曽根	3			3		根岸	1			3			
庄瀬	1		1	1		大通	2			1			
小林	2		1	4		白根	11		1	1			
臼井	2					味方	3			9			
大郷	1			2		月潟	4		1	1			
(市助成金活用団体) 合計 37か所						合計	33		4	28			
月1タイプ (30,000円) / 33か所						合計	65 (63)				1 (1)		
週1タイプ (240,000円) / 4か所													

※()内は前年度数

○交流会・研修会の開催

事業名	開催日・会場	内容・参加者
南区ボランティア・地域の茶の間・サロン交流会	令和4年12月9日(金) サルナート吉運堂	・健康講座「筋肉は裏切らない！」 ・体しゃつきり体操（南区社協バージョン） ・ボランティア団体とサロン代表者の活動発表 参加者 53名
地域の茶の間・サロン研修会	令和5年2月27日(月) サルナート吉運堂	・地域の茶の間での感染症対策について ・お知らせ（出張講座など） ・地域の茶の間・ふれあい・いきいきサロンにかかる書類等の説明 参加者 33名
子育て支援団体ゆるやかなネットワークづくり事業	令和5年3月2日(木) サルナート吉運堂	・「きたもんクラブ」活動報告 ・各団体の活動紹介 ・意見交換 参加者 13名
地域の茶の間・サロン助成事業報告及び申請書類作成相談会	令和5年3月23日(木)、 24日(金)、27日(月)	・令和4年度事業実績報告書、収支決算書、令和年度事業申請書、ボランティア行事用保険の加入についての個別相談会

(2) おせち料理等宅配事業

各地区社会福祉協議会の地域福祉事業と連携を図り、地域の要援護者への配食サービス、友愛訪問活動、及びおせち料理宅配事業を実施しました。

区社協名	実施団体（協力団体）	昼食会・配食サービス対象者数	安心箱等訪問回数	おせち配食世帯数
新飯田地区社協	地区社協、民生委員 自治会長	—	89	13
茨曽根地区社協	地区社協、民生委員	122(配食)	38	17
庄瀬地区社協	地区社協、民生委員	—	44	38
小林地区社協	民生委員、自治会長	—	216	25
臼井地区社協	地区社協、民生委員	—	108	35
大郷地区社協	地区社協、民生委員	—	—	24
鷺巣地区社協	地区社協、民生委員	100(配食)	14	14
根岸地区社協	地区社協、民生委員	—	29	29
大通地区社協	地区社協、民生委員	—	243	40
白根地区社協	地区社協、民生委員	416(配食)	—	212
味方地区社協	民生委員	—	—	50
月潟地区社協	民生委員	—	82	54
合 計		638 人 (301 人)	863 人 (960 人)	551 食 (534 食)

※ () 内は前年度数

(3) コミュニティソーシャルワーク事業

様々な理由から支援が必要な世帯が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、関係機関と連携しながら、継続的に関わりました。また個別の支援から見えた地域の課題について、多様な機関や地域団体等と新たな社会資源立ち上げの検討を行い、地域への情報発信に努めました。

コロナ禍で苦しい暮らしを強いられている方々への支援として、昨年度に続きひとり親世帯や生活困窮世帯へ食料相談支援事業を実施しました。実施にあたって、世帯の状況を伺いながら継続的な面談を行い、必要に応じ関係機関と個別ケース会議を開催しました。

また、地域福祉ネットワーク会議では、コロナ禍で途切れがちとなった地域と事業所の新たなつながりづくりをテーマに開催し、現在取り組んでいることや困りごとを共有、今後の地域の活動や事業所の取組へと繋げることができるようグループワークを行いました。

取り組みは次のとおりです。

回	開催日	主な内容
1	令和4年7月9日(土) 8月27日(土) 9月10日(土) 10月8日(土) 11月12日(土) 12月10日(土) 令和5年1月14日(土) 2月11日(土) 3月11日(土)	●ひきこもりに悩んでいる家族の居場所 ・交流会 ・7月、2月のみ 講師に長岡崇徳大学 看護学部看護学科 斎藤まさ子教授を招き、家族と意見交換を行いました。 ・3月には、家族の健康づくりとリフレッシュ目的で体操とミニコンサートを実施しました。 延参加者 68名
2	令和4年8月27日(土) 9月10日(土) 10月8日(土) 11月12日(土) 12月10日(土) 令和5年1月14日(土) 2月11日(土) 3月11日(土)	●ひきこもり当事者の居場所 (rakkura らっくら) ボードゲームや参加者同士の交流など、自由にゆったりと過ごしていただく居場所として開催しました。 延参加者 15名
3	令和4年12月1日(木)	●ひきこもり支援連絡会 (参加: 11機関) ・家族の居場所及び当事者の居場所の報告 ・事例報告 (区社協及びひきこもり支援センターより) ・ひきこもりの方の支援に関わる支援機関による意見交換
5	令和4年7月22日(金) 7月23日(土)	●ひとり親世帯へ食料支援 (協力: 区健康福祉課児童福祉係、食料支援賛同団体・企業)
4	令和4年12月14日(水) ～16日(金) 令和5年3月1日(水) ～3日(金)	●生活困窮世帯へ食料支援 (協力: 食料支援賛同団体・企業)
5	【しろね南圏域】 令和5年2月14日(火) 【しろね北圏域】 令和5年2月20日(月) 【あじかた圏域】 令和5年2月21日(火)	●地域福祉ネットワーク会議 テーマ: 「コロナ禍でも地域と事業所でつながろう!」 ・地域の事業所の取り組みについての紹介 ・グループワーク「地域と事業所のつながりを考える」

○南区保健医療福祉のつながりを深める会（共催）

保健医療福祉の専門職との連携・協働の会に参画し、住民が「住み慣れた南区で生活を継続するために何が必要なのか」について、講演会並びに研修会の開催に協力しました。

開催日	会 場	内 容
令和4年2月5日(日) 参加者 158名	白根学習館ラス ペックホール及 びオンライン	基調講演 「新潟県のグランドデザインにみる 南区の地域包括ケア」 講師 KOYANAGI 真柄 CLINIC 院長 小柳 亮氏 座長 杉山内科医院 院長 杉山 幹也氏 座談会「かかりつけ医をもちましょう！南区の 地域を診（み）る かかりつけ医座談会」 講師 吉沢医院 院長 吉沢 浩志氏 KOYANAGI 真柄 CLINIC 院長 小柳 亮氏 座長 杉山内科医院 院長 杉山 幹也氏 参加者 158名（うち、オンライン 50名）

（4）心配ごと相談事業

毎月第2・第4水曜日に心配ごと相談所を開設し、心配ごとや困りごとの相談に対し、適切な助言指導を行い相談者の問題解決に努めました。

相談員は、本部主催の相談員研修会並びに区主催の相談員研修会に参加し、相談員としての資質向上に努めました。

[心配ごと相談所相談件数]

区 分	R4	R3	R2
開催日数（回）	24	24	28
相談件数（件）	15	9	9

[研修会]

日時・会場	主な内容	参加人数(人)
令和4年7月14日(木) 市総合福祉会館	「対応に困る相談・相談所の役割」 講師：新潟県臨床心理士会 会長 藤沢 直子 様	7
令和4年10月14日(金) 市総合福祉会館	「弁護士さんに聞いてみよう！」 講師：あさひ新潟法律事務所 弁護士 山田 聰之 様	8
令和5年3月3日(金) 市総合福祉会館	「相談の基本と心構え・傾聴対応について」 講師：新潟県臨床心理士会 会長 藤沢 直子	8
令和5年3月17日(金) 南区社会福祉協議会	「心配ごと相談員の役割について」 講師：新潟市心配ごと相談所 小宮 計子	9

(5) 生活福祉資金貸付制度の推進

低所得者世帯等を対象に生活福祉資金貸付について相談支援を行いました。

生活福祉資金特例貸付においては、新型コロナウイルス感染拡大による休業や失業のための収入の減少で生活に困窮した世帯の相談支援を行いました。相談を受けるなかでみえてくる生活課題などもあるため、関係機関等と連携しながら支援していく必要があります。

[新規貸付件数]

資金名		R4(件)	R3(件)	R2(件)
生活福祉資金	総合支援資金	0	0	0
	福祉資金	1	0	1
	教育支援資金	1	2	1
	不動産担保型	0	0	0
	生活資金			
合 計		2	2	2

[貸付件数] 特例貸付(コマ)

	R4 (件)	R3 (件)
緊急小口資金	14	59
総合支援資金	7	20

○日常生活自立支援事業の推進

日常生活に悩みや不安のある認知症の高齢者、知的障がいや精神障がいのある方が、地域で安全、安心した生活を送れるよう関係機関と連携し、福祉サービス利用や日常的金銭管理のサービス提供に努めました。

新規契約件数 (件)	サービス利用者数 (件)	契約終了件数 (件)
1 (0)	12 (11)	0 (2)

() 内は前年度数値

○緊急情報キット配付事業の実施

高齢者や障がいのある方などの緊急時に備え、連絡先やかかりつけ医、持病等を記載した用紙をボトルに入れて冷蔵庫で保管しておくための緊急情報キットを地区社協、民生委員、自治会・町内会長の協力のもと配布しました。

<令和4年度配布内訳>

地区名	単身高齢者	高齢者のみ	身体障がい者	知的障がい者	その他	有償	合計 (本)
新飯田	2	13	0	0	0	59	74
茨曽根	0	0	0	0	0	0	0

地区名	単身高齢者	高齢者のみ	身体障がい者	知的障がい者	その他	有償	合計 (本)
庄瀬	1	0	0	0	0	0	1
小林	4	0	0	0	0	0	4
臼井	3	0	0	0	0	0	3
大郷	0	0	0	0	0	0	0
鷲巻	0	0	0	0	0	0	0
根岸	1	0	1	0	0	0	2
大通	6	5	1	0	0	1	13
白根	7	1	1	0	0	0	9
味方	1	0	0	0	0	0	1
月潟	0	0	0	1	0	0	1
施設	0	0	0	0	0	0	0
合計	25	19	3	1	0	60	108

*令和4年度末までの総配布数 1,296 本(うち 196 本有償)

3. ボランティアの育成と活動支援

(1) ボランティア・市民活動センター運営事業

コロナ終息の見通しが立たない中、屋外で行う畠ボランティア活動や個別で活動できる折り紙ボランティア活動など、コロナ過でも可能な活動を推進しました。

○ボランティアグループ数、人数

区分	高齢	障がい	児童	病院/ 施設	視覚 障がい	聴覚 障がい	その他	災害 関係	計
団体数	6	1	9	2	1	3	32	1	55
所属人数	82	36	160	64	16	79	628	35	1100
個人人数	8	1	0	0	0	0	2	7	18

○ボランティア保険加入

活動保険 (人)	行事用保険 (件)
517	457

○ボランティア相談・ニーズ相談件数

ボランティア したい (件)	ボランティア 欲しい (件)	情報提供 したい (件)	情報欲しい (件)	計 (件)
10	17	0	27	54

○ボランティア・市民活動センター運営委員会

運営委員から障がいや認知症についてさらに理解を広めてほしいという要望を頂き、小学校で行う総合的な学習の時間で新プログラムを実施する等、運営委員会の提言を反映することができました。

区分	R4	R3	R2
運営委員会回数(回)	2	2	1
運営委員数(人)	6	6	6

○南区ボランティア・市民活動センターだより

No. 13号は、庄瀬地区でボランティア活動等を行っている家族の活動をまとめたインタビュー集を発行しました。No. 14号は、令和4年度の事業について紹介する内容で、昨年度に引き続き社協だよりとの合併号として新聞折込による全戸配布を行いました。

区分	部数	配布先
11月発行 No.13	700部	ボランティア団体、個人、サロン、施設、学校、その他関係先
2月発行 No.14	送付 1,500部 新聞折込 11,300部	ボランティア団体、個人、サロン、施設、学校、法人募金先、賛助会員、その他関係先

○大雪対応

8月におきた県北豪雨災害のボランティアバスに参加した方々が、南区の除雪有償ボランティア（雪援隊）に登録してくださり、例年以上に万全の備えができました。幸い積雪も一時的なものだったため、ボランティアの活動は1名でした。

区分	除雪	生活支援	その他	計	うちボランティア活動人数
相談件数	18	0	0	18	1

(2) 災害ボランティアセンター運営事業

○災害ボランティアセンター検討委員会

災害ボランティアセンターの目的や災害発生時の役割、平時からの災害に対する備えについて学ぶ研修を実施しました。また、これまでの検討内容や設置訓練からでてきた課題を整理し、運営マニュアルの見直し箇所の抽出や次年度の取り組みについて検討しました。

区分	R4	R3	R2
検討委員会回数 (回)	5	6	4
検討委員数 (人)	8	8	8

<実施状況>

開催日	内容	参加委員数(人)
令和 4 年 4 月 19 日(火)	新規メンバー顔合せ、令和 4 年度検討委員会及び設置訓練のスケジュール確認、基礎研修の内容について	6
6 月 24 日(金)	災害ボランティアセンター基礎研修	6
8 月 16 日(火)	設置訓練の内容について	7
10 月 18 日(火)	自主研修	7
令和 5 年 2 月 21 日(火)	令和 4 年度訓練の振り返りと課題確認点について 令和 5 年度事業内容について	6

○災害ボランティアセンター設置訓練

令和 4 年度の設置訓練では、令和 3 年度に選定した設置場所で他団体と共に運営マニュアルに沿って演習を行いました。そこで円滑な運営や連携を図れるように各担当の活動内容についても改めて確認しました。

区分	R4	R3	R2
設置訓練参加者数 (人)	22	26	19

<実施状況>

開催日	会 場	内容・参加団体	参加者数(人)
令和 4 年 11 月 20 日(日)	白根野球場	白根青年会議所、白根ライオンズクラブ、南区赤十字奉仕団、南区役所地域総務課、健康福祉課	22

○地域防災（防災学習）

令和 2 年度から実施している地域防災出前講座は、コロナ禍により前年度より依頼数は減少したものの、近年の自然災害による防災に対する意識の高まりもあり地域コミュニティ協議会や自主防災会等 4 団体からお声がけいただき、災害発生時の対応や日ごろの備えなどの防災学習を開催しました。

区分	R4	R3	R2
防災学習参加者 (人)	109	310	315

○災害ボランティア支援バスの運行

令和 4 年 8 月の県北豪雨災害のボランティア活動支援のため、村上市へボランティアバスを運行しました。

運行日	参加人数 (人)
令和 4 年 8 月 28 日 (日)	23

(3) ボランティア・市民活動育成事業

○ボランティア講座・交流会

きっかけづくり講座は、親亡き後のお金についての講座第3弾を開催し、支援を受ける側の受援力の強化を目指しました。ボランティア活動やサロン活動が復活してきたため、活動を下支えする「体しゃつきり体操 南区社協版」（14分）を作成し、交流会で発表・配布しました。※現在も希望者に配布中

区分	R4	R3	R2
ボラ講座参加者数（人）	74	44	102
新規ボラ団体設立（団体）	0	0	0
交流会参加者数（人）	96	64	63
施設研修会参加数（人）	0	107	16

<実施状況>

開催日	事業名	参加者数 (延べ人数)
令和4年6月21日(火)	福祉教育講座「ともに生きる力を育む福祉教育」1 講義『なぜ福祉を学ぶのか』	33
令和4年8月10日(水)	福祉教育講座「ともに生きる力を育む福祉教育」2 意見交換会『今どきの子どもに対するアプローチ』	15
令和4年9月17日(土)	ボランティアきっかけ作り講座（受援力強化）	26
令和4年12月9日(金)	南区ボランティア・サロン・元気力アップサポート交流会（再掲、6ページ参照）	53
令和4年12月26日(月)	中学生ボランティア交流会	43

(4) 福祉教育推進事業

小学生に「福祉とは何か」を的確に伝えることを目的に、福祉教育をともに学ぶ講座を開催、また今どきの子どもへのアプローチの仕方について情報交換しました。それを踏まえ、専門家に助言を頂き、小学校向けの福祉教育教材を全職員で作成しました。講座や意見交換会に多くの地域の方々が参加してくださったことで、南区の福祉教育を協同実践していくプラットフォームの基礎作りができました。

大人への福祉教育では、地域の茶の間において、夏休み期間の子どもたちと共に高齢者がさらに後期高齢者となった際の体の変化を学ぶ体験学習を開催しました。高齢者は自身の機能低下を実感して健康に留意するよう意識付けをし、子どもたちは実際の高齢者がいる場での高齢者体験で、自然と高齢者を敬う気持ちが生まれる機会となりました。

区分	R4	R3	R2
福祉教育実施学校（校）	12	10	8
大人の福祉教育実施（回）	5	5	2

<実施状況>

対 象	内 容	回	参加者数(延べ)
新飯田小学校 4年生	福祉と視覚障がい、聴覚障がいについて、当事者交流（視覚及び聴覚）、音声訳体験、手話を学ぶ	5	95
茨曽根小学校 4年生	福祉と視覚障がいについて、視覚障がい体験、当事者交流（視覚）、音声訳体験	4	44
庄瀬小学校 4年生	福祉と視覚障がいについて、当事者交流（視覚）、音声訳体験	3	48
小林小学校 4年生	福祉と視覚障がいについて、当事者交流（視覚）、音声訳体験	3	54
大鷲小学校 4年生	福祉と視覚障がい、聴覚障がいについて、当事者交流（視覚及び聴覚）、音声訳体験、手話を学ぶ	5	55
根岸小学校 4年生	福祉と高齢者について、当事者交流（高齢者）、認知症について	3	66
大通小学校 3年生	視覚障がいについて、当事者交流（視覚）、ユニバーサルデザインについて ※ 3クラス	3	258
月潟小学校 4年生	高齢者について、高齢者体験	1	28
白根北中学校 1年生	南区を知る	1	104
白南中学校 2年生	地域の課題を捉え解決策を考える	6	270
味方中学校 1年生	当事者交流（手話を学ぶ）	1	13
白根高等学校 3年生	ボランティアについて、高齢者施設交流（オンライン）、当事者交流（視覚）、音声訳体験	4	52
ふれあい茶の間(吉江)	高齢者の高齢者体験	1	30
曲通ふれあい広場	高齢者の高齢者体験	1	26
新潟市南消防署	福祉と高齢者について、車いす体験、高齢者体験	3	54

4. 区社協広報・啓発活動事業

(1) 第14回南区社会福祉大会・共に生き支え合う南区地域づくりフォーラム

孤立・孤独が社会の中で問題となり、さらに地域では少子高齢化が進み、地域福祉活動の担い手不足も課題となっている中で、「地域共生社会」「支え合いのしくみのある地域」の実現に向けて取組む先進地の事例を聴き、また南区内の活動について報告する機会として、「第14回南区社会福祉協議会及び共に生き支え合う南区地域づくりフォーラム」と題し、社会福祉大会・地域福祉推進フォーラム・支え合いのしくみづくりフォーラムを一体的に開催しました。

開催日	主な内容と参加者
令和4年12月3日（土）	<ul style="list-style-type: none"> ・第14回南区社会福祉大会 南区社会福祉協議会会長表彰 表彰式 ・第1部 基調講演：「ひとりぼっちを見逃さない～誰もが安心できるまち・地域の暮らし方～」 講師：豊中市社会福祉協議会事務局長 勝部麗子氏 ・第2部 パネルディスカッション： 「南区のひとりぼっちを見逃さない地域をつくる取組みについて」 コーディネーター：新潟医療福祉大学社会福祉学部准教授 渡邊豊氏 パネラー：味方圏域支え合いのしくみづくり推進員 仲山田鶴子氏・丸山澄江氏 月潟圏域支え合いのしくみづくり推進員 泉田めづる氏 南区社会福祉協議会コミュニティーサルワーカー 熨斗綾香 ・参加者：132名（会場113名、オンライン19名）

(2) 広報「区社協だより」及び「ボランティア・市民活動センターだより」の発行

広報誌名・No.	発行日	掲載内容
区社協だよりみなみ 第50号	令和4年7月3日（日）	南区アクションプランの取り組み開始、R4年度事業計画・予算、R3年度事業報告・決算報告、R3年度共同募金実績報告、R4社協会費納入のお願い、ボランティア団体活動紹介、ひとり親世帯支援寄付募集案内、地域の茶の間・サロン案内、元気力アップサポーター案内、ひきこもり家族の居場所開催案内、情報キット案内、健康福祉フェア中止・心配ごと相談所お知らせ、他
区社協だよりみなみ 第51号	令和4年9月25日（日）	ボランティアバス報告、赤い羽根共同募金協力依頼、共同募金公募型助成案内、ひとり親世帯支援報告、賛助会員企業、お金の講座報告、フォーラム開催案内、ひきこもり家族の居場所開

		催案内、心配ごと相談所お知らせ、障がい者基幹相談支援センター案内、ファミリーサポートセンター案内、地域の茶の間・子育てサロン MAP他
区社協だよりみなみ 第52号	令和5年2月26日(日)	フォーラム開催報告、地区社協活動報告、地域防災講座報告、寄付金の御礼、共同募金実績報告、心配ごと相談所お知らせ、生活困窮者食料相談支援報告
区ボランティア・市民活動センターだより No.13	令和4年11月上旬	ボランティア・インタビュー南区特集（しなのがわ工房ままや・西山久子、庄瀬地域生活センター長・西山ゆき、大通郵便局長・西山英彦）、お茶の間で高齢者の高齢者体験、個人ボランティア紹介
区ボランティア・市民活動センターだより No.14（社協だよりとの合併号）	令和5年2月26日(日)	畠ボランティア&折り紙ボランティア、ダルク交流会、ボランティア・サロン・元気力アップサポート交流会、体しゃつきり体操南区バージョン、福祉教育講座開催、小・中学校の福祉教育、南消防署はスマート体験ほか

5. 区社協運営事業

(1) 理事会の開催状況

区分	開催日・会場	協議題
第1回理事会	令和4年5月27日(金) 南区社会福祉協議会 会議室	・令和3年度南区社協事業報告について ・令和3年度南区社協収支決算について
第2回理事会	令和4年9月6日(火) 白根健康福祉センター 会議室(出席数満たず会議後書面表決)	・令和3年度南区社協会長表彰被表彰者の選考について
第3回理事会	令和5年3月29日(水) 南区社会福祉協議会 大会議室	・令和4年度南区社協事業計画(案)について ・令和4年度南区社協収支予算(案)について ・役員の改選について

(2) 監事会の開催

区分	開催日・会場	監査事項
監事會	令和4年5月20日(金) 南区社会福祉協議会	・令和3年度南区社会福祉協議会事業実施報告について ・令和3年度南区社会福祉協議会収支決算について

(3)会員会費の納入状況(目標額：1世帯 500円)

地区名	世帯数	納入世帯	納入率	納入金額(円)
新飯田	491	488	99.4%	244,000
茨曽根	418	408	97.6%	204,000
庄瀬	633	629	99.4%	314,500
小林	1,112	937	84.3%	468,500
臼井	962	824	85.7%	412,000
大郷	458	421	91.9%	210,500
鷺巣	513	493	96.1%	246,500
根岸	1,158	1,003	86.6%	501,500
大通	2,381	1,809	76.0%	904,500
白根	3,782	2,674	70.7%	1,336,400
味方	1,269	1,009	79.5%	504,300
月潟	1,146	1,033	90.1%	516,500
合計	14,323 (14,302)	11,728 (12,140)	81.9 (84.9)	5,863,200 (6,069,200)

※()内は前年度数値

(4) 法人等の賛助会員数と実績額の状況

個人	97人	77,000円	(74人)	47,000円
法人	22社	150,000円	(22社)	135,000円

6. 市受託事業の推進

(1) 元気力アップ・サポーター事業

高齢者が介護施設などでのサポート活動を通じ、高齢者の社会参加を促進し、健康増進や介護予防及び地域の活性化を目的とした事業です。受入協力機関として指定された施設・事業所等でサポート活動を行った場合に、年度ごとに活動実績をポイントとして評価し、ポイント数に応じて、サポーターの申請により交付金として還元しました。

区分	説明会		サポーター登録者数 (人)	登録施設数(施設)
	開催数(回)	参加者数(人)		
令和4年度	4	4	(新規) 5	0
合計 ※1.2は累計	235 ※1	190 ※2	147	49

○元気力応援事業

令和3年度に引き続き、コロナ禍で福祉施設がボランティアの受け入れを休止している状況下、積極的な登録呼びかけや活動案内を行うことができなかつた代わりとして、南区社協を会場に清拭切りや食料相談支援事業のサポート等の活動を元気力応援事業として行いました。

区分	R4	R3	R2
元気力応援事業（人）	76	42	22

<実施状況>

開催日	全参加者数	サポーター参加者数
令和4年4月14日(木)	5	5
令和4年5月12日(木)	6	6
令和4年6月9日(木)	5	5
令和4年7月14日(木)	6	6
令和4年8月18日(木)	6	6
令和4年9月8日(木)	6	6
令和4年10月13日(木)	6	6
令和4年11月10日(木)	5	5
令和4年12月8日(木)	3	3
令和4年12月12日(月)	6	5
令和5年1月12日(木)	5	5
令和5年2月9日(木)	7	6
令和5年2月28日(火)	6	6
令和5年3月9日(木)	6	6

7. 共同募金事業の推進

[令和4年度赤い羽根共同募金並びに歳末たすけあい募金実績額]

区分	令和4年度 目標額	令和4年度 実績額	達成率	令和3年度 実績額	対前年比較
共同募金	6,330,000	6,092,360円	96.2%	6,198,334円	△105,974円
歳末募金	3,000,000	3,128,200円	104.3%	3,152,867円	△24,667円
合計	9,330,000	9,220,560円	98.8%	9,351,201円	△130,641円

[赤い羽根共同募金の募金別内訳]

募金種別	募金額	割合
戸別募金	4,915,630 円	80.7%
法人募金	765,562 円	12.6%
学校募金	199,449 円	3.3%
街頭募金	14,459 円	0.2%
職域募金	109,160 円	1.8%
イベント募金	2,050 円	0.0%
その他募金	86,050 円	1.4%
合 計	6,092,360 円	100.0%

[歳末たすけあい募金の募金別内訳]

募金種別	募金額	割合
戸別募金	3,051,960 円	97.6%
職域募金	76,239 円	2.4%
その他募金	1 円	0.0%
合 計	3,128,200 円	100.0%